



みせん

瀬戸内海国立公園
宮島地区パーク
ボランティアの会

第80号

発行日
令和2年6月1日

◇ 目 次 ◇

- P-2 鷹ノ巣高砲台跡地清掃・整備作業
- P-3 宮島学園卒業記念植樹作業協力
- P-4 定期総会の関係
- P-5 大平 AR 自己紹介
- P-6 その他の活動
- P-7 投稿記事
- P-9 編集後記

新型コロナウイルス緊急事態宣言のため
次の行事が中止になりました。

4/11(土) : 定期総会～午後: 部会打合せ、
自主観察会(1)、小なきり海岸清掃

4/18(土) : 清掃登山(博奕尾～獅子岩～弥山
～駒ヶ林～大元)

4/29(水) : 樹木名板維持管理作業①

5/16(土) : 入浜池補足調査①

5/23(土) : 自主観察会(2)、公募観察会下見

5/30(土) : 公募観察会①(植物)(杉之浦旧道
～世界文化遺産貢献の森林)

錫杖の梅



3/2 撮影



3/21 撮影



3/21 撮影

錫杖の梅が3月21日に満開を迎えました。梅一輪の開花は3月2日で、今年は暖冬の影響で早いのかと思いましたが、同じ日にちに開花しました。老木ですが八重の紅梅の花がしっかりと満開しています。(文: 増田 写真: 3/21 満開時: 増田、開花時 3/2: 河野)

鷹ノ巣高砲台跡地 清掃・整備作業

日 時：3月14日(土) 9:00～13:00

天 候：曇り

行事推進員：河野 野呂田

参加者：恩田 河野 佐藤 末原 以上4名

朝6時のNHK天気予報では降水確率40%であったが、その後50%になった。しかも広島市佐伯区以東では雨らしく、廿日市市以西では曇りであった。実施条件は厳密には満足しているものの、「果たして参加者は？」と心配しつつ、自宅を出た。

集合場所の宮島栈橋前広場に着くと、時々青空が見えるようになり、9時時点で4名の会員(全員廿日市以西に居住)が集まった。

現地近くの道路までタクシーで移動し、ここから清掃道具を各自持って、徒歩20分で9時30分ごろ到着した。

まず、高砲台跡に倒れている大木の除去作業です。根元直径が40cmもあり、運べるように長さ約1mずつに切断した。これを2～3人で運んで除去した。

休憩後、方位観測所とここに通ずる階段及び砲台跡周囲の清掃を行った。落ち葉や枯れ木等を熊手、スコップで取り除き、きれいにする事ができた。

作業を11時30分に終了し、昼食です。末原会員から珍しい差し入れがあり、おいしくいただきました。ヤブニッケイの葉で包んだお餅(団子)で、懐かしいニッキの匂いがし、食欲をそそりました。

12時30分に現地を出発し、13時ごろタクシーで栈橋に無事到着し、解散した。

天気はすっかり回復し昼頃には快晴となり、心地よい疲れとともに帰路に就いた。



清掃道具を持ち移動



倒木を除去する前の高砲台跡



倒木を除去した後の高砲台跡



方位観測所の階段の清掃作業

方位観測所の階段(清掃後)
(文, 写真 : 河野)

宮島学園 卒業記念植樹作業協力

日 時 令和2年3月16日(月)
天 候 晴れ時々雪
参加者 河野 佐渡 末原 野呂田 増田 森
以上6名

宮島学園卒業記念植樹は、4年前に広島森林管理署体験植樹の一環として、裸地化した国有林の宮島ロープウェー獅子岩駅周辺の植生を復元させるために、広島大学宮島自然植物実験所坪田准教授の指導により、7年生の時に種を蒔いた苗木を植樹するものです。

本年卒業する9年生10名は、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、学校の一斉休校により参加出来ませんでしたが、この記念

植樹に向けて、苗木20本を用意していたのと、山林の緑化を早めるために実施しました。

当日は、晴天と雪交じりの寒い日でしたが、当会員6名、広島大学宮島自然植物実験所職員、学生、他のボランティア団体含めて総勢42名が参加し、苗木20本を植樹しました。作業手順は、廿日市市文化財担当者が確認した植生穴(直径30cm、深さ30cm)に、持参した腐葉土と掘削土を混ぜて30cm~50cmの苗木を植え、水やり、シカ除け防護柵を取付けて作業を終えました。これからも樹木の成長を見守って行きたいと思います。

○本年の植樹本数

樹 種	本数	樹 種	本 数
シリブカガシ	1本	コジイ	3本
アカガシ	13本	アラカシ	2本
ヤブツバキ	1本		



集合写真





(文 : 末原
 写真 : 河野 集合写真は広大の内田様)

定期総会の関係

定期総会は新型コロナウイルスのため中止になり、末原会長より以下の2件の案内と報告が書面でありました。

*** 総会中止案内 ***

4月6日(月) 総会中止連絡

令和2年度総会と4・5月の活動中止について(ご案内)

桜花満開の候 いつも会活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

4月11日開催予定の総会は、新型コロナウイルス感染症の患者が増加し、終息の見込みも立っていないことから、去る4日の総会資料作成後に幹事会で協議し、本日環境省広島事務所の山崎保護官と協議した結果、ウイルス感染防止の観点から、一同が集まった会議を開かず、特別の例として書面審議にて決議することにいたします。また、4月・5月の活動についても、すべて中止といたします。

なお、書面審議等の取扱いについては、次のとおりとしますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

*** 結果報告 ***

令和2年4月19日 総会書面審議結果

宮島地区パークボランティアの会員の皆様
 宮島地区パークボランティアの会
 会長 末原 義秋

令和2年度「宮島地区パークボランティアの会」総会書面審議の結果について

穀雨の候 会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本年度の総会は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、書面での議決とし、令

和 2 年 4 月 18 日必着で書面議決書を提出していただきました。

その結果について、次のとおりご報告いたします。（書面議決書提出者数 37 名で、総会案内時に書面議決書の未提出者の取扱いについては、賛成と見なすこととしているため、提出者数は 42 名とします。）

◇令和 2 年度 宮島地区パークボランティアの会総会議決結果

1 議案

- 第 1 号議案 令和元年度活動報告
（賛成 42・反対 0・無効 0）
- 第 2 号議案 令和元年度決算書及び監査報告
（賛成 42・反対 0・無効 0）
- 第 3 号議案 令和 2 年度活動計画（案）
（賛成 41・反対 0・無効 1）
- 第 4 号議案 令和 2 年度予算書（案）
（賛成 41・反対 0・無効 1）

2 結果

すべての議案について、可決されました。
（宮島地区パークボランティアの会会則第 5 条第 2 項の規定により、会員数 42 名のうち、賛成が過半数を超えているため。）

大平 AR 自己紹介

○名前：大平 祐輔（おおひら ゆうすけ）

○出身地：兵庫県姫路市（実家は田畑に囲まれた田舎：家の窓からキジが歩いている姿が見えたり、カエルが合唱したり、ホタルが飛んだり、シカやイノシシがでたりします。）

○趣味：読書 考えること 食虫植物観察 生物に関する調べ物 辛い物を食べること

○見てみたい生き物：ブッポウソウという青くて美しい鳥を生で見てみたいです。

○自然への興味・関心について：自然に囲まれて育ち物心ついた時から、自然や生き



物が大好きでした。環境学習イベントや大学での講義等を通して、人が自然に及ぼす影響の大きさを学び、自然と人間のつきあい方についてより深く考えるようになりました。

（日本住血線虫病という感染症を防ぐため、原因となる日本住血線虫の中間宿主であるミヤイリガイを撲滅したという話を知り、人がその気になれば特定の生物種を撲滅できるのだと知り驚愕しました。）

人は自然環境を破壊することができます。しかし、同様に人は自然環境の回復や保全をしていく事も可能だと考えています。地球は人間だけのものではなく、人類に試練も恵みも与える自然と上手くつきあうことが、今後私たちが生きていく上で必要なのではないかと感じており、自然の現状を発信し、自然との共生の方法を模索し続けたいと考えています。

○経歴：高校卒業後、岡山の大学に進学して生物学を学びました。また、在学中に中学校・高校の理科と数学の教員免許を取得しました。自然環境の講義と教員免許を取る過程で、環境保全に関する知識は専門家等特定のコミュニティ間でのみ共有されるのではなく、周囲（特に将来を担う子供たち）に伝えていかなければならないという思いを抱きました。大学卒業後は、広島の大学院に進学しました。大学院では、海をフィールドとし、植物プランクトンの観点から瀬戸内海を豊かにする方法を研究しています。

～AR（アクティブ・レンジャー）になった成り行き～

環境について調べていると、偶然、宮島でパークボランティア観察会の開催を知り、参加しました。そこで、初めて宮島 PV の皆様や山崎自然保護官、前任の大高下 AR に出会いました。将来、自然に関わる職に就きたいと思っており、この PV 観察会がきっかけとなり、自然保護官に興味を持ちました。その後、1年間という期間で AR の募集があり、採用されて今に至ります。（現在、大学院は休学中です。）

○今後の予定：2021 年 4 月には大学院に復学予定です。卒業後は、自然保護官を目指そうと考えています。

○ひとこと : 広島にきてようやく1年が経ちました。しかし、宮島だけでなく自然環境についての知識や経験がまだまだ浅いです。様々な経験を通して、より多くの知識と経験値を会得しようと考えています。ご迷惑をおかけする事も多いかと思いますが、精一杯頑張ります。どうぞよろしく願いいたします。



缶バッジの手作り製作状況
出来栄えにご満悦の発案者 中道会員

**** その他の活動 ****

(記事・写真 岩崎)

設立20周年記念 缶バッジをつくりました

日時：令和2年3月5日(木)
参加者：岩崎 末原 中道 舛田 村上 森

今年6月宮島地区パークボランティアの会が設立20周年を迎え、記念の手作り缶バッジを作成しました。

3月5日環境省広島事務所に6名が集まり大小それぞれ100個づつ手作業で2時間半かけて行いました。大きい方は57ミリで主にリュック用、小さい方は32ミリで主に帽子装着用です。会旗と同じものを大高下ARにデザインしてもらいました。今秋の新規会員募集と将来入会する会員用に多めにつくりました。

会員の皆さんには6月に予定の設立20周年記念の懇親会で配布を予定していましたが順延となりましたので、再開後の各行事または12月の臨時総会時に製本版「みせん20周年記念特集号」と共に配布していきます。



樹木名板維持管理 末原会員

宮島公園管理者の広島県からうぐいす道などの歩道に取付けている、樹木名板を釘での取付分を針金等に変更してほしいとの要請があり、4月29日に作業を実施することになっていました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、作業が中止になったことから自主的に実施しました。実施状況は、表のとおりですが、釘取付けの名板を全部細いアルミ線に取替え、危険な箇所、高木で幹廻が太い木、遠方にある樹木は撤去しました。

樹木名板取付箇所見出表

番号	取付場所	既存取付枚数	釘取替え枚数	撤去枚数	既存針金枚数
1	うぐいす道 紅葉谷ロープ ウェー道	178	90	33	55
2	藤の棚公園 ～荒神原	42	30	9	3
3	大元公園～ アセビ歩道	143	86	17	40
計		363	206	59	98

◇樹木名板の釘取付けを針金取付け後の状況
その①



現状の釘取付け



針金に付替後

(文・写真：末原)



針金に付替後

その②



現状の釘取付け

**** 投稿 ****

「旧広島市域の厳島管絃祭にか
かわる祭礼行事について」 森会員

かつて旧広島市域において厳島管絃祭に合わせて、いくつかの盛大な祭礼行事が執り行われていたとの話を昨年夏に聞く機会があり、既にご存じお方もおられると思いますが、ここに紹介させていただきます。

1. 誓願寺の厳島大明神の祭礼

紫雲山誓願寺は原爆で灰燼と帰す前は、現在の原爆資料館南側の「祈りの泉」辺りにあり、広さ約 3200 余坪、国泰寺や本願寺別院と共に広島三大伽藍に数えられた大寺院でした。僧侶の恵空が天正 18 年（1590 年）に開山し、厳島大明神は慶長 10 年（1605 年）に勧請されたといわれます。今、誓願寺は三滝に移っています。

旧暦 6 月 17 日の管絃祭の日の誓願寺を描いた「日本名所圖會全集 藝州嚴島図絵上巻」には広い境内に非常に多くの人々が描かれており、次の一文が記されています。

「六月十七夜、いつくしまの神船、地の御前に渡りたまふ同じ時に、当寺境内に祭れる明神社においても、また管絃あり。参詣人も多く、或いは角力をし、或いは踊をして浮かれ遊びつつ、夜の明けなんとするをおぼえるも、みな神慮を慰むるためなり」

この風景は、原爆投下前まで続いていたとのことです。



(誓願寺：「藝州嚴島図絵 上巻」絵図 116)

2. 白島九軒町磧の火振りと高ちょうちん

白島九軒町は京橋川の上流の JR 線路の北に位置し、川の対岸は牛田になります。

管絃祭の日に白島九軒町の磧（かわら）では、松明を手に持ち、嚴島に向かって振る祭礼が江戸時代から大正末期まで行われていました。

千人以上の男の子や大人が松明を持ち、河原に降りて「蓬萊三宝清め給え」と大声を張り上げ、嚴島神社へおあかりを捧げ、今年の無事を祈念しました。兩岸には多くの見物人がつめかけて、なかなかの賑わいだったようです。火振りは、大潮が川をさかのぼって河原をひたすまで行われ、満潮時になると宮島の方に向かって柏手を打っていました。また、管絃潮と言って、満ちてくる汐を汲取り、家の間毎に清め撒き、戴き飲んで加護を祈る事もしていました。

この夜は、市内のあちらこちらで宮島さんへの「おあかり」といわれる「高ちょうちん」が掲げられて敬虔の意を表していました。高ちょうちんは、竹竿や丸太をつなぎ合わせた二丈～五丈（6m～15m）の先

に弓張ちょうちん付けたもので、屋根の上方高くに掲げられていました。

3. 御供船（おともんぶね）

江戸時代中頃から管絃船にお供するため広島から宮島へ御供船が出ていました。

正徳元年（1711年）6月に紙屋町の釣燈屋三代目市兵衛が油屋町の協力を得て、神船の雨具を献じたことでお供を許されたのが始まりで、これ以降、紙屋町をはじめ各町から御供船が出されることになりました。船の装飾は祇園会（京都）の山鉾、お囃子は祇園囃子を参考にした豪華なもので、管絃祭の前日に広島を出て、18日に帰ってきます。最盛期には100艘くらいの船が出ていました。

しかし、江戸時代の後期から衰退の傾向を見せ、明治に入り橋が架かって航行困難になり、さらに、山陽鉄道が伸びて宮島口から渡航するようになり、一気に衰退しました。明治43年の浅野長政公300年祭で2艘出たのが本川のもので、京橋川では昭和の初期までわずかに見られたとのこと



(御供船：広島拘置所壁画)

管絃祭は、広島地域において最大規模をほこると称される祭礼行事で、県内各地で管絃祭、もしくはそれにまつわる行事が行われていました。現在も行われている地域がありますが、旧広島市域は原爆で人・物・資料が一瞬に無くなり、人々の記憶から失われつつあるようです。

(文・写真： 森)

「獅子岩」 森会員

大砂利には何度か行きましたが、今回は足が痛くなって長い休憩を取り、獅子岩をゆっくりと見ました。大砂利から見る山の上部は岩肌が出ていて、ロープウェー沿いの尾根から見る緑に覆われた景色とはずいぶん違っていました。



(大砂利から見る獅子岩)



(榎谷と獅子岩の中間の尾根から見る獅子岩)

(文・写真：森)

編 集 後 記 ◇

本日 (5/5) みせん 80 号を編集集中の私は、新型コロナウイルス緊急事態宣言を受けて 4/24 より 5/10 の間、出勤を避けるために休みになりました。自宅待機 6 日、有給 1 日、休日 11 日の 18 連休です。

ピンチはチャンス！！

この休みを利用して、玄関と廊下の床の張替え DIY を実施。また久々にパン酵母液を冷蔵庫から取出して自家製酵母のパン作りと日ごろやれないことをして過ごしています。



2018.5.1 寂地山で撮影：白いカタクリの花
(麻生)

瀬戸内海国立公園
宮島地区パークボランティアの会

事務局：環境省 中国四国地方
環境事務所 広島事務所
(〒730-0012)

広島市中区上八丁堀 6 番 30 号
広島合同庁舎 3 号館 1 階

TEL082-223-7450、FAX082-211-0455